

国際共同研究事業
ドイツとの国際共同研究プログラム
平成30年度実施報告書

平成31年3月31日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

共同研究代表者

所属機関・部局 九州大学・大学院理学研究院

(ふりがな)

職・氏名 准教授・^{りゅう ふいしん}Liu Huixin

1. 事業名 国際共同研究事業ドイツとの国際共同研究プログラム
2. 研究課題名 (和文) 年々変動と長期トレンドにおける中層大気と超高層大気結合：大気波動の役割を探る
(英文) Wave coupling processes of the middle and upper atmosphere: Interannual and long-term variability (VACILT)
3. 共同研究実施期間（全採用期間）
平成31年3月1日～平成34年2月28日（3年0ヶ月）
4. 研究参加者（代表者を含む）
(1) 日本側参加者 5名 (2) ドイツ側参加者 9名
5. 主要な物品購入状況（単価（一品又は一組）若しくは一式の価格が50万円以上のものを購入した場合は記載）

物品名	仕様 型・性能等	数量	単価(円)	金額(円)	設置研究機関名	備考

備考：本事業の委託費と他の経費とを合算使用する際は、合算使用した旨を備考欄に記載した上で、金額は本事業の委託費によるもののみ計上してください。

8. 研究実施状況

※ 申請書の内容及び当該年度実施計画書の「5. 本年度実施計画の概要」と対応させつつ、当該年度の研究の実施状況を簡潔に日本語にて記入してください。

今年度の研究期間が短いため（1ヶ月）、ドイツの共同研究者との交流はメールの形で行なった。地上観測データは名古屋大学大塚雄一准教授のサポートを貰いながら、フォーマットを整えつつある。GAIA モデルを用いる数値実験の解析は順調に進めている。九大院生 M2 の中本が熱圏に関する結果を解析し、大気潮汐の変動を調べ、修士論文を仕上げた。九大院生 M1 の阿部が電離圏に関する結果を解析し、電場や電子密度の変動を調べつつある。

9. 研究発表（平成 30 年度の研究成果）

【雑誌論文】 計（ 0 ）件 うち査読付論文 計（0）件

通番	共著の有無*	著 者 名		論 文 標 題			
①		雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
②		著 者 名		論 文 標 題			
		雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
③		著 者 名		論 文 標 題			
		雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁

【学会発表】 計（ 0 ）件 うち招待講演 計（0）件

通番	発 表 者 名		発 表 標 題	
	①			
学 会 等 名		発表年月日	発 表 場 所	

【図 書】 計（ 0 ）件

通番	共著の有無*	著 者 名		出 版 社	
①		書 名		発行年	総ページ数

* 相手国研究代表者との共著がある場合は○、相手国研究代表者との共著であり論文内に事業名を明記している場合は◎と記入した上で、明記されている箇所（頁、巻頭、巻末等）を記入。

* 足りない場合は適宜行を追加して下さい。

1. この報告書は、最終年度を除く毎年度提出してください。
2. 本会の事業報告等に記載するための適当な写真がありましたら、説明を付して添付してください。
3. この報告書の 1. ～5. 及び 8. ～9. は、本共同研究の成果として本会ホームページに掲載するほか、報告書全てを閲覧用に公開します。また、この報告書を本会の事業報告として刊行する場合、内容に影響しない範囲で修正を行うことがあります。